

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院  
第 23 回地域連絡協議会議事録

【日 時】 2026 年 5 月 15 日（金） 14 時～15 時

【場 所】 大会議室（中央棟 6 階）

【議 題】 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料 1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料 2

3) 退院調整（調整件数・退院先状況） 資料 3

III 「当院におけるもやもや病に対する治療 ～もやもや病専門外来～」

脳神経外科部長 高須 俊太郎

IV 討論

V 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

ウィンターロード俊江、大島伸一、喜多村隆、近藤広見、鈴木理、勅使河原修、西本和生、根崎涼介、東昇生、三品優子、三原亘

【欠席者】

青木一郎、尾之内博規、加藤雅通、真田昌代、柴田真一、永井敏美、日比野正範、矢田篤司

【当院出席者】

加田賢治、真弓俊彦、大野稔人、前田憲幸、河嶋知子、岡本勝男、伊藤和幸

【当院欠席者】

林英司、

【開会挨拶】

（加田院長）

4 月 1 日付で新たに院長へ就任した旨の報告。

1988 年に名古屋大学卒業後、中京病院で研修を行い、その後循環器内科医として PCI（冠動脈インターベンション）、不整脈アブレーション、心臓リハビリテーション、心不全チーム医療などに携わってきた経歴を紹介した。

また、中京病院は開院 78 年の歴史を有し、腎移植、重症熱傷治療、小児先天性心疾患手術、高度救急医療、年間 3,000 件を超える全身麻酔手術など全国レベルの診療実績を有していることを説明した。

さらに、新東館整備により急性期医療機能が強化されたことに触れ、今後も急性期拠点病院として地域医療構想における役割を果たしていく考えを示した。

今後の重点として、救急受入件数の増加、手術件数の向上、地域医療機関との更なる連携強化を掲げた。

また、小児先天性心疾患患者の成人移行医療や、もやもや病など高度専門医療にも力を入れていく方針が示された。

(ウィンターロード委員長)

会長就任3年目を迎えるにあたり、引き続き地域医療連携の推進に努めたい旨の挨拶があった。

## I 新任委員紹介

(勅使河原委員)

中京病院との地理的近接性や日頃の診療連携について触れ、今後は瑞穂区と中京病院との橋渡し役として尽力したいとの旨の挨拶があった。

(三品委員)

南区は65歳以上の人口が30%を超えており、名古屋市16区の中でも特に高齢化が進行している。高齢者が安心して暮らすためには医療との連携が不可欠であり、今後も病院・行政間で協力を進めたいとの旨の挨拶があった。

(前田委員)

専門は脳神経外科で、脳血管障害、脳腫瘍、脊髄疾患に引き続き取り組むとともに、管理者としては救急医療、教育体制の充実にも力を入れていく旨の挨拶があった。

## II 地域医療連携に関するデータ報告 (加藤室長)

### 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移 (資料1)

#### 地域医療支援病院報告事項一覧 (資料1-1)

##### ◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は61,529人、入院患者延数は35,851人、稼働病床利用率は75.4%、平均在院日数は10.3日、在宅復帰率は98.3%となっている。

##### ◆ 紹介・逆紹介実績

初診患者は3,840人、紹介患者数2,747人(紹介率71.5%)。逆紹介患者数は5,074人(逆紹介率132.1%)となっている。

##### ◆ 救急実績

救急患者総数は3,400人、入院しなかった数は、2,263人でその割合は66.6%。

入院した患者は、1,137人、33.4%は入院となっている。

救急搬送の患者は、1,430人。救急車以外のウォーク in とされる患者は1,970人、小児救急患者の数は387人。

##### ◆ 紹介率・逆紹介率・初診患者 (資料1-2)

初診数 1月1,311件、2月1,161件、3月1,368件

紹介率 1月69.2%、2月70.7%、3月74.5%。

逆紹介率 1月119.3%、2月136.8%、3月140.5%

### 2) 病診連携 (受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等) (資料2)

#### ◆ FAX・Web2025年度 (1~3月実績、2025年度実績) (資料2-1、2-2)

FAX・Webの予約状況では、眼科、消化器科、泌尿器科、循環器内科が多い。

検査においては、従来どおりCT・MRが多く、次いで下部内視鏡検査が多い。

#### ◆ 開放型病床利用 (資料2-3、2-4)

第四四半期は3件。いずれも眼科の手術目的での利用。

年間でも4件(眼科3件、内分泌糖尿病内科1件)

### 3) 退院支援（資料3）

#### ◆2025年度退院支援件数・転帰（資料3-1）

退院患者数 14,038件 退院支援件数 13,694件

退院支援 13,694件のうち死亡 375件、転院 1,291件、施設 409件、自宅 11,619件  
転院、施設の内訳は資料3-2参照

#### 〈質疑応答〉

特になし

### Ⅲ「当院におけるもやもや病に対する治療 ～もやもや病専門外来～」

脳神経外科部長 高須 俊太郎

#### (1) もやもや病とは

・もやもや病は、内頸動脈終末部が進行性に狭窄・閉塞し側副血行路（もやもや血管）が形成される疾患であり、日本人に多い特徴があると説明された。

・主な症状

小児：TIA（一過性脳虚血発作）、脳梗塞

成人：脳出血

特に小児では、熱いものを冷ます際などに過換気となり、症状が誘発されることが特徴とされた。

#### (2) 診断方法

MR I、MRA、脳血管撮影などによる診断について説明。

#### (3) 治療法

基本的には外科的血行再建術が中心となる。

手術方法

・直接バイパス術

浅側頭動脈と中大脳動脈を直接吻合する方法。

・間接バイパス術

筋肉・骨膜などを脳表へ留置し、新生血管形成を促す方法。

当院では両者を組み合わせた「複合的血行再建術」を実施しているとの説明があった。

#### (4) 治療実績

2025年には年間65件のもやもや病手術を実施し、全国でも有数の症例数であるとの報告があった。また、小児例でも積極的に直接バイパスを施行しており、良好な長期成績、極めて低い後遺症率が得られていることが説明された。死亡例は現在まで経験していない。

#### 〈質疑応答〉

（ウィンターロード委員長）

もやもや病は先天性的に特殊な血管であることが関連する疾患なのか？

（高須部長）

先天性の疾患ではないが遺伝的な背景を基にして進行する疾患と考えられている。発症のメカニズムはよく分かっていないが、RNF213 遺伝子異常との関連が知られており、もやもや病関連遺伝子と呼ばれている。

また、この遺伝子異常は、もやもや病だけでなく、動脈硬化性と考えられているような頭蓋内動脈の狭窄にも関わっていると言われている。

欧米に比べて日本人は非常に脳の血管、頭蓋内血管の狭窄が多く、その遺伝子異常が関わっているのではないかと、ということも最近では言われている。

#### IV 討論、その他

河嶋委員より現在分散している、地域連携相談室、入退院支援室を統合し、「患者支援センター」として新たに運営開始するとの報告があった。

- ・移転概要

場所：本館 2 階（旧薬局部）

開始日：6 月 15 日（月）

患者や地域医療機関にとって分かりやすく、相談しやすい窓口を目指すと説明された。

電話番号・FAX 番号に変更はないとの案内があった。

#### V 閉会

##### 2025 年度 地域医療支援委員会開催予定

- ・次回の地域医療支援委員会は 8 月 21 日（金）に開催予定

**第23回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会  
2026年5月15日（金）**

院外委員

NO	委員(フリガナ) (五十音順・敬称略)	職名	新任	備考	出欠
1	青木 一郎 (アキ イロウ)	南区歯科医師会長		医療関係団体	欠席
2	ウインターロード俊江 (ウインターロード トシエ)	南区医師会長		医療関係団体	出席
3	大島 伸一 (オシマ シンイチ)	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	出席
4	尾之内 博規 (オウチ ヒロキ)	知多郡医師会長		医療関係団体	欠席
5	加藤 雅通 (カトウ マサチ)	愛知県医師会理事		医療関係団体	欠席
6	喜多村 隆 (キタムラ タカシ)	明治学区連絡協議会名誉会長		市民代表	出席
7	近藤 広見 (コトウ ヒロミ)	名古屋市南区訪問看護 ステーション所長		医療関係団体	出席
8	真田 昌代 (マサタ マサヨ)	善常会リハビリテーション病院 事務部長		医療関係団体	欠席
9	柴田 真一 (シハタ シンイチ)	緑区医師会長		医療関係団体	欠席
10	鈴木 理 (スズキ オサム)	天白区医師会長		医療関係団体	出席
11	勅使河原 修 (テシカハラ オサム)	瑞穂区医師会長	○	医療関係団体	出席
12	永井 敏美 (ナガイ トミ)	名古屋市医師会担当理事		医療関係団体	欠席
13	西本 和生 (ニシモト カズオ)	熱田区医師会副会長		医療関係団体	出席
14	根崎 涼介 (ネザキ リョウスケ)	医) 山口病院 地域医療連携室室長		医療関係団体	出席
15	東 昇生 (ヒガシ ノリオ)	名古屋市南消防署長		医療行政代表	出席
16	日比野 正範 (ヒビノ マサノリ)	南区薬剤師会長		医療関係団体	欠席
17	三品 優子 (ミナ ユウコ)	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長	○	医療行政代表	出席
18	三原 亘 (ミハラ ヒタル)	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療関係団体	出席
19	矢田 篤司 (ヤタ アツシ)	港区医師会副会長		医療関係団体	欠席

出席： 11名

院内委員

NO	委員(フリガナ)	職名	新任	備考	出欠
1	加田 賢治 (カダ ケンジ)	院長	○	病院代表	出席
2	真弓 俊彦 (マユミ トシヒコ)	副院長		〃	出席
3	林 英司 (ハヤシ エイジ)	副院長		〃	欠席
4	大野 稔人 (オノ トシヒト)	副院長		〃	出席
5	前田 憲幸 (マエダ ケンコウ)	副院長	○	〃	出席
6	河嶋 知子 (カワシマ トモコ)	副院長兼看護部長		〃	出席
7	岡本 勝男 (オカモト カツオ)	事務部長		〃	出席
8	伊藤 和幸 (イトウ カズユキ)	薬剤部長		〃	出席

出席： 7名